

第14期

令和6年度

子ども大学はにゅう活動記録



1日目: 8月6日(火)

入学式

時間: 9:30~9:40
会場: 埼玉純真短期大学

埼玉純真短期大学のシャンデリアのある豪華なマナー実践室で、中学生サポーターが司会を担当し、入学式を行いました。秋本副学長から、子ども大学はにゅうに参加した学生の取り組み姿勢や、学べる環境があることに感謝をして過ごしてほしい、とお話がありました。学生は真剣に耳を傾け、厳かな雰囲気緊張しながらも、どんなことを学べるかな、友達ができるかなと2日間の講義に期待している様子でした。



市内の小学校4~6年生の子ども達26名が入学しました。そして卒業生の中学生サポーター5名が参加しました。

アイスブレイク

時間: 9:45~10:05
会場: 埼玉純真短期大学
講師: 羽生市青少年相談員



「アイスブレイク」とは緊張で氷のように固くなっている心を溶かすということの意味です。学生たちがより早く打ち解け、子ども大学をもっと楽しく過ごせるように、青少年相談員のもと自己紹介を交えたレクリエーションを行いました。

これから共に講義を受ける仲間との絆を深めるため、羽生市青少年相談員による「アイスブレイク」が行われました。まずは「後出しじゃんけん」のレクを行いました。後出しで負けなければいけないルールで「あ〜勝ちちゃった!」と声が出るほど、学生の緊張は解けて、みんなで盛り上がりました。その次に「となりのとなり」というレクで、グループに分かれて自己紹介をしました。2番目以降の人は自分より前に紹介された名前を言って、最後に自分の自己紹介をします。前の人の名前を聞いていないと困ってしまうため、みんな真剣に聞いていました。分からない時は近くの学生にヒントを出してもらったり、協力してレクに挑戦し、初めて会う仲間と楽しく打ち解けていました。

講義 I 生き方学

マンダラチャートを作成してみよう〜防災編〜

時間: 10:10~11:00
会場: 埼玉純真短期大学
講師: 羽生青年会議所の皆さん



最初の講義は、羽生青年会議所の皆さんから防災について考える時間でした。9×9のマスキからなる、思考・発想のためのフレームワークである「マンダラチャート」の中心目標を「災害から命を守る」に設定して行いました。練習としてマスキが少ないもので「夏休みを楽しもうぞす!」を目標に設定して取り組み、その後、本題の「災害から命を守る」を目標に、「水害対応」「火災対応」「地震対応」「避難対応」について考えました。グループ内で相談しながら、制限時間いっぱい使って考え、発表の時間にはほかのグループの発表もしっかりと聞いてメモを取る様子も窺えました。災害が起きた時に慌てないように日頃から準備をし、意識して生活することが、命を守る行動につながると学び、講義は終了しました。

講義 II ふるさと学

はにゅうの産業と歴史を知ろう
〜物流倉庫をのぞいてみよう〜

時間: 11:10~11:30, 12:55~13:50
会場: 埼玉純真短期大学、熊谷通運株式会社 羽生物流センター
講師: 熊谷通運株式会社の皆さん



2つ目の講義は、熊谷通運株式会社の皆様に御協力いただき、座学と見学の2部構成で物流について学びました。3グループに分かれて説明を聞きながら普通倉庫・冷蔵倉庫・トラック運転席からの死角体験をローテーションでまわります。普通倉庫では、フォークリフトが荷物を降ろす実演をしてもらい、歓声が上がりました。冷蔵倉庫ではポテトチップスの原料となるじゃがいもが大きなカゴに入れられ、天井近くまで積み重ねられている様子に圧巻されていました。死角体験では、トラックやトレーラーの運転席に座って、どこが見えていないかを体験しました。自分たちが道路を横断する時、自転車で行く時に気を付けよう!と改めて交通安全についても確認しました。

講義 III はてな学

人協働型ロボットを動かしてみよう

時間: 14:40~15:50
会場: ものづくり大学
講師: 平野 聡 先生 (ものづくり大学) 大学生スタッフ 4名



1日目最後の講義は、ものづくり大学で行われました。平野聡先生と大学生スタッフによる、人協働型ロボット※を動かすプログラミングの講義です。ロボットに対して「ダイレクトティーチング」という手法で3個のジェンガを積み上げるプログラムを作成しました。積極的にやってみる子、難しそう…と遠慮がちな子、学生の反応は様々でしたが、最後は全員が身を乗り出して取り組んでいました。動き一つ一つをロボットに覚えさせ、実際に動作させた際は歓声が上がりました。うまく積み重ならなかったら、すぐにプログラムを修正し、諦めずに何度も調整していました。プログラミングに親しみ、共同作業を通して体験を共有することで学生同士もより仲が良くなることができ、1日目が終了しました。

※人と協働するために安全設計された(鋭利な部分がなく、指を挟みこまない構造)ロボットのこと

学習のまとめ

時間: 10:40~11:20
会場: 埼玉純真短期大学
講師: 三反 玲子 先生 (埼玉純真短期大学)



2日間でたくさんのワクワクと発見がありました。学びは振り返ることで定着します。4つの講義を振り返り、楽しかったことや心に残ったことを絵日記にまとめました。個性豊かな絵や感想を真剣に書き進めていきました。友達の絵を褒めあいながら、思い出を話し合っている姿もありました。

修了式

時間: 11:30~12:10
会場: 埼玉純真短期大学

子ども大学はにゅうへの入学ありがとうございました。これからも、たくさんの方に興味を持って、楽しみながら学んでいってくださいね!



修了式も司会進行をサポートが担当し、入学式と同じ、マナー実践室で執り行われました。達成感に溢れた学生は、感想発表の場面でも「マンダラチャートを作ったのが勉強になった。」「友だちができて嬉しかった。」などそれぞれ学んだこと、楽しかったことを堂々と発表していました。続いて秋本副学長より、学生一人ひとりに修了証書が授与されました。そして、子ども大学に3期連続で参加した6年生の3名に、三反委員長から記念品が渡されました。最後に全員で素敵な笑顔で記念撮影を行い、修了式は閉式となりました。子ども大学はにゅうで充実した2日間が過ごせたことと思います。

講義 IV はてな学

2日目: 8月8日(木)

Happy Birthday to you!

〜素敵なバースデーケーキタワーを作ろう!!〜

時間: 9:30~10:30
会場: 埼玉純真短期大学
講師: 高橋 努 先生 (埼玉純真短期大学)



2日目は、埼玉純真短期大学の高橋努先生による講義から始まりました。ハサミのりも何も使わずに、紙だけでどれだけ高いタワーが作れるかを競います。紙にしっかり折り目をつけたら立つかな? 四角柱にしたら? 切り込みを入れてくっつけたら?…と、グループごとに様々な工夫を試みていました。完成したグループから高さを測っていくはずが、どのグループも考えすぎて時間を過ぎて積み上げられません。それでも最後はなんとか完成し、記録を測定することができました。何cm以上に積み上げると正解というような、はっきりした答えはなく、チームワークや創意工夫を求められる内容でした。終わったあとは「やりきった!」という達成感が表れたような良い表情の学生が多数の中、最後の講義は終了しました。

発行日 令和7年2月
発行・編集 子ども大学はにゅう実行委員会 (埼玉純真短期大学・(一社)羽生青年会議所・羽生市青少年相談員協議会・羽生ロータリークラブ・羽生市教育委員会)
協力団体 アロハガス(株)・(有)シガ工芸・読売センター羽生・羽生西部